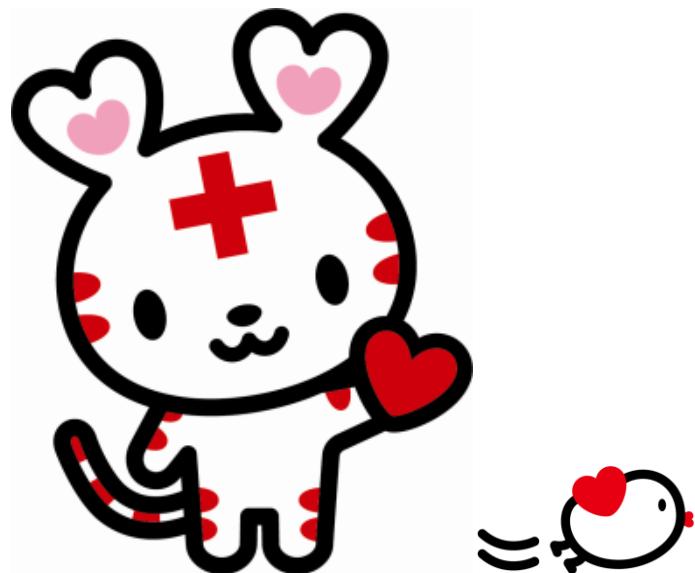


平成 31 (2019) 年度

事 業 計 画

一 般 会 計 予 算



ハートちゃん

- 目 次 -

I . 平成 31(2019)年度 基本方針(案)	1
II . 平成 31(2019)年度年間活動予定(案)		2
III . 平成 31(2019)年度 事業計画(案)		
1 災害救護体制の強化	4
2 赤十字講習の充実	9
3 青少年赤十字の育成	11
4 國際活動の推進	14
5 救護看護師の養成	14
6 血液事業の推進	15
7 赤十字ボランティアの育成	16
8 効果的な広報の展開	20
9 活動資金の募集及び表彰制度	22
10 奈良県支部有功会	23
IV . 平成 31(2019)年度 一般会計予算(案)		
1 平成 31(2019)年度 一般会計予算	25
2 平成 31 年度(2019) 活動資金募集お願い額一覧表	26

I. 平成31(2019)年度 基本方針(案)

近年、世界各地で発生する大規模な自然災害、テロや紛争、感染症の流行など、一国では解決困難な国際的課題が急増しており、赤十字が取り組むべき人道的課題が山積しているため、必要な支援を行ってまいります。

日本国内においても、平成30年の大阪府北部地震、7月豪雨、そして北海道胆振東部地震や、台風による集中豪雨、火山の噴火による災害等も頻発しており、さらには、南海トラフ地震が発生する恐れがあると危惧されております。

また、地域医療の再編や地域包括ケアシステムの構築など少子高齢社会における医療・介護をめぐる行政施策が進められ、多様なNPO活動の普及など、日本赤十字社を取り巻く環境は加速的に変化しており、社会における赤十字活動のあり方が問われるようになっています。

このため、日本赤十字社では、平成29-31年度の基本方針の最終年度として、「人間のいのちと健康、尊厳を守る日本赤十字社」として、「総合力」を生かした柔軟な事業展開をしてまいります。

また、奈良県支部では、防災ボランティアの協力を得ながら、災害救護体制の更なる強化を図るとともに、自助・共助の重要性を踏まえながら、地域や学校における防災・減災のための取組みを普及してまいります。

そして、急速に進展する少子高齢社会に対応しながら、いざという時に役立つ赤十字講習や、大切なのちを救う血液事業の推進など、健康・医療、福祉等に関する活動に取り組みます。

さらに、これらの活動を支えていただいている地域奉仕団をはじめとする赤十字ボランティアや青少年赤十字の育成・強化を図ります。

今後とも、日本赤十字社の使命に基づき、県民の皆さんからお寄せいただく貴重な活動資金を効果的に活用し、以下の取組みについて、目標を明確にして計画的に推進してまいります。

- 1 災害救護体制の強化
- 2 赤十字講習の充実
- 3 青少年赤十字の育成
- 4 国際活動の推進
- 5 救護看護師の養成
- 6 血液事業の推進
- 7 赤十字ボランティアの育成
- 8 効果的な広報の展開
- 9 活動資金の募集

II. 平成 31(2019)年度年間活動予定(案)

月 日	名 称	場 所	内 容
4	12 岡山ハンセン病施設訪問	岡山県	奈良県人会との交流
	奉仕団地区委員会（4月～随時）	各市町村	平成 31 年度支部・奉仕団事業計画
	赤十字事務担当者会議	橿原市	平成 31 年度事業計画、活動資金募集の留意点
	安全法指導赤十字奉仕団総会		平成 30 年度事業報告、平成 31 年度事業計画
	無線・救護赤十字奉仕団総会	支部	平成 30 年度事業報告、平成 31 年度事業計画
	有功会総会	奈良市	平成 30 年度事業・決算報告、平成 31 年度事業計画
	地区有功会総会（4月～随時）	各市町村	平成 30 年度事業・決算報告、平成 31 年度事業計画
5	赤十字運動月間	県内各地	赤十字事業の広報活動、活動資金協力依頼
	近鉄奈良駅前横断幕設置	奈良市	赤十字活動啓発横断幕の設置
	赤十字フェスタ（仮称）	橿原市	災害時に役立つ講習会、救護所展示、赤十字パネル展
	全国赤十字大会参會	東京都	式典：有功章等受章、アトラクション：講演
	11.18.19 救急法基礎・養成講習会	奈良市	心肺蘇生、AED の使用法、止血・包帯法 など
	26 6/2.9 水上安全法救助員 I 養成講習会	大和郡山市	水の事故防止、泳ぎの基本と自己保全 など
	17～19 健康生活支援講習支援員養成講習	支部	高齢者の健康と安全、地域における高齢者支援 など
	12 救護班基礎研修会	支部	救護活動に必要な知識と技術の習得
	青少年赤十字賛助奉仕団総会	支部	平成 30 年度事業報告、平成 31 年度事業計画
	予備監査	支部	平成 30 年度一般会計決算
6	支部監査委員会	支部	平成 30 年度事業報告、決算概要
	15 第 4 ブロック合同災害救護訓練	滋賀県	避難所巡回診療などメディカルラリー
	8～9 幼児安全法支援員養成講習会	支部	子どもの応急手当、一次救命処置 など
	奉仕団支部委員会	支部	
7	支部評議員会	支部	平成 30 年度事業報告、決算概要
	1～8/31 献血キャンペーン 7月～8月	各市町村	街頭献血呼びかけ
	29 地域奉仕団研修会	奈良市	
	31 8/1.2 青少年赤十字トレーニングセンタ	奈良市	ボランティアについて、応急手当、フィールドワーク など
8	3.4 赤十字防災セミナー指導者養成研修	大阪府	
	17 災害時要配慮者生活支援講習	支部	知つて役立つ知識、非常食作り、応急手当 など
	救急法基礎・養成講習会	奈良市	心肺蘇生、AED の使用法、止血・包帯法 など
	31 県防災総合訓練	桜井市	救護所開設、運営など

月 日	名 称	場 所	内 容
9	青少年赤十字指導者養成講習会	生駒市	青少年赤十字基本学習、防災教育プログラム など
	14.15. 21.22 第 4 ブロック合同水上安全法指導員養成講習会	大和郡山市	
	12~18 青少年赤十字国際交流受入事業	滋賀県	海外メンバーとの交流
10	10~11 日赤紺綏・有功会会長協議会総会	福岡市	H 30 収支決算・監査報告、講演など
	23~25 健康生活支援講習支援員養成講習	支部	高齢者の健康と安全、地域における高齢者支援 など
	こころのケア研修会	支部	
11	看護専門学校推薦入試	支部	
	2~4. 9.10 幼児安全法指導員養成講習	支部	
	みんなの防災+ソナエ	奈良市	災害時に役立つ講習、赤十字活動紹介パネル展
	第 4 ブロック青年奉仕団リーダー養成研修会		リーダーについて など
12	1~25 NHK 海外たすけあいキャンペーン	各市町村	街頭募金、NHK 奈良放送局での受付 など
	有功会連絡協議会	奈良市	地区有功会活動報告 など
	救急法基礎・養成講習会	橿原市	心肺蘇生、AED の使用法、止血・包帯法 など
	奈良マラソン救護	奈良市	救護活動
	青少年赤十字児童生徒交流会	奈良市	NHK 海外たすけあい募金、赤十字学習
1	1~2/29 はたちの献血キャンペーン 1月~2月	各市町村	街頭献血呼びかけ
	18 災害時要配慮者生活支援講習	支部	知って役立つ知識、非常食作り、応急手当 など
2	奉仕団支部委員会	支部	平成 31 年度事業中間報告、平成 32 年度事業計画
	支部評議員会	支部	平成 32 年度事業計画、予算概要
	救急法基礎・養成講習会	未定	心肺蘇生、AED の使用法、止血・包帯法 など
	近畿大学農学部赤十字奉仕団総会	奈良市	活動報告、役員改選 など
	13~14 幼児安全法支援員養成講習	支部	子どもの応急手当、一次救命処置 など
3	私たちは忘れないプロジェクト	奈良市	非常食体験、災害時に役立つ講習会、救護所展示、無線体験、赤十字活動紹介パネル展、街頭募金
	有功会理事会	奈良市	役員改選、有功章社員加入状況等報告
	看護奉仕団研修会	支部	災害時における看護活動の技術習得 など
	防災ボランティア研修会	支部	災害時におけるボランティア活動の技術習得 など

III. 平成 31(2019)年度 事業計画(案)

1 災害救護体制の強化 – 災害からいのちを守る –

国内において、地震や大型台風などの災害で被災された方々を救うため、救護班の編成と訓練、救護資機材・救援物資の整備、防災ボランティアの研修など、災害救護体制の強化を図ります。また、被災された方々のための義援金の募集活動も行います。

(1) 救護班の編成と訓練

- ① 災害に備え、第4ブロック(近畿)合同災害救護訓練(滋賀県：6月15日)に、奈良県支部と委託契約を結んでいる医療救護班や防災ボランティアが協働して訓練に参加します。
また、行政主催の奈良県合同防災総合訓練(桜井市：8月31日)に、関係機関として参加します。

【第4ブロック(近畿)合同災害救護訓練】



▲救護所での医療救護活動



▲避難所アセスメント

【県合同防災総合訓練】



▲救護所での医療救護活動



▲防災ボランティアによる担架搬送

【医療救護班】

名 称	班数	備考
地方独立行政法人奈良県総合医療センター	2班	平成26年4月1日委託契約締結
地方独立行政法人奈良県西和医療センター	2班	"
南奈良総合医療センター	1班	平成28年4月20日委託契約締結
市立奈良病院	1班	平成26年4月1日委託契約締結
大和高田市立病院	1班	平成26年9月1日委託契約締結
奈良県立医科大学附属病院	1班	平成28年11月1日委託契約締結
合計	8班	

※1班の体制：医師1名・看護師3名・主事1名・調整員1名 計6名

- ② 医療救護の研修として、災害医療コーディネータを中心に奈良県支部と委託契約を結んでいる医療救護班要員（医師、看護師、主事等）の研修会（救護員基礎研修、こころのケア研修）を支部主催で実施します。

また、本社主催の研修会（全国救護班研修、災害医療コーディネート研修、こころのケア研修、防災ボランティア研修）にも参加していただきます。



▲日赤災害医療コーディネータを委嘱



▲救護班基礎研修会：支部主催



▲こころのケア研修：支部主催



▲全国救護班研修会：本社主催

- ③ 県内で災害が発生した際に対応できるよう、医療コーディネータとの調整やシミレーションを行い、災害に対応できる体制を具体的に取り決めます。
- ④ 大規模災害が発生した際、支部の備蓄のみでは充分な活動ができないことから、迅速かつ的確な災害救護を実施できる体制を構築するため、企業・団体との災害時物資支援協定に取り組みます。
- ⑤ 防災・減災教育事業として赤十字防災セミナーを実施。自治会等地域住民を対象にボランティアの協力を得て、災害エスノグラフティー、非常食作り、身近なものを利用した応急手当などニーズに応じて実施し、地域における自助・互助・共助の力を強化します。



▲赤十字防災セミナー



▲ラップを利用した応急手当

(2) 救護資機材・救援物資の整備

- ① 南海トラフ地震などの大規模災害に備え、奈良県支部において、救護所用大型テント・災害救護車両・衛星電話などの救護資機材の整備及び、医療救護班の派遣等に必要な非常食の備蓄などを行ってきましたが、平成 31 年度（2019 年度から 2021 年度）3 カ年計画で救護資機材の更新と救護班要員装備品の整備を行います。

【更新予定表（3 カ年計画）】

2019 年度	2020 年度	2021 年度
<ul style="list-style-type: none"> ・救急車及び災害救援車 ・災害救援車（地区分区配備） ・救援物資(ブルーシート・布団) ・非常食の備蓄 ・救護服、救護班用 T シャツ ・タブレット ・デジタルカメラ ・ホーネタル LED 作業灯 ・AED バッテリー ・ターニケット(止血帯) など 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害救援車(貨物タイプ・軽タイプ) ・災害救援車（地区分区配備） ・災害用移動式エアコン ・テント ・救援物資(ブルーシート・布団) ・非常食の備蓄 ・折畳診察台 ・LED バルーン投光器 ・インバーター発電機 ・血圧計 ・トランシーバー ・ポータブル DVD ・救護班鞄 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害救援車（地区分区配備） ・救援物資(ブルーシート・布団) ・エアテント ・無線機(基地局、車載器など) ・災害用ヘルメット ・災害用テレビモニター ・AED 本体 ・備蓄水 ・ドライブレコーダー など

- ② 救援物資（布団、安眠セット、緊急セット、毛布、タオルケット、バスタオル）の備蓄と配布を引き続き行うとともに、熊本地震災害でニーズが多かったブルーシートについても備蓄します。

また、不慮の火災などで亡くなられた被災者には弔慰金（1 人当たり 20,000 円）を届けます。



▲毛布



▲安眠セット



▲緊急セット



▲ブルーシート



▲タオルケット

【救護資機材の整備】※()の数字は平成31年度に新たに整備を予定しています。

— 奈良県支部 —

	品名	数量	品名	数量
救護班要員装備品	医療セット	5	大型フレームテント	2
	携帯医療セット	5	大型エアーテント(ハイブリット式)	1
	救護班要員携行バッグ	30	エアーテント(大1・小1)	2
	医療資機材携行用鞄	33	組立式テント	12
	パルスオキシメータ	9	ワンタッチテント(大2・小6)	8
	電子体温計	20	プライベートテント	1
	ターニケット(止血帯)	50(50)	間仕切り用パーテーション(2種類)	30
	自動体外式除細動器(AED)	3	簡易トイレ	2
	救護服:上下	198(10)	簡易トイレ用ワンタッチテント	4
	救護服:雨衣	30	自家発電機(ガソリンタイプ)	16
	救護服:防寒衣	30	水銀灯付発電機	1
	救護服:Tシャツ	140(20)	蓄電池	1
	防護メガネ	20	投光器	9
	防塵マスク	10	誘導灯	5
	防寒用ブランケット	30	作業灯	3(3)
	LEDヘッドライト	10	冷暖房機器 (冷暖房器:3、暖房器:1、冷房器:3)	7
	懐中電灯	10	診療用机・椅子	1
	ペンライト(ホルダー付)	30	診察台	4
	寝袋	50	折畳式寝台	80
	万能ハサミ	20	キャンバスベッド	6
	ハイツル	50	傷病者用毛布	70
	非常食:アルファー米(50食)	22(6)	担架	15
	非常食:餅	40	担架架台	10
	非常食:ビスケット	27	浄水器	1
	非常食:ドライスープ	291	LEDランタン	10
	非常食:白粥	191	拡声器	5
	非常食:鮭粥	143	リヤカー(大・小)	各1
	非常食:惣菜(3種)	218(50)	レスキューカー	2(2)
	非常食:味噌汁・スープ(100食)	3(3)	移動炊飯器	11
	非常食:水(24本)	44		
	非常食:丂(2種)	72		
機材・原子力対応資材	空間線量率測定用サバイメータ	1	業務用無線基地局	2
	防護服セット	6	業務用無線移動局	14
	デジタル個人線量計	7	業務用無線携帯局	21
	NBC除染資機材セット	1	アマチュア無線局	1
支援要員資材	ボランティアユニフォーム	40	室外設置用外部アンテナ	3
	ボランティア反射チョッキ	50	通信機器	デジタル通信システム(D-STAR レピーター)
	ボランティア帽子	50		2
	防寒衣	59		携帯電話
	雨衣(白色・黄色)	50		データ通信端末
				デジタルカメラ
災害救護車両	災害通信指揮車(衛星電話搭載)	1		3(1)
	救急車	1(1)		タブレット
	災害救援車	5(1)		1(1)
	救護資機材運搬トラック	1		衛星携帯電話

— 地区分区(市町村) —

	品名	数量	品名	数量
災害対応資機材	災害救援車	55(3)	ワンタッチテント(大)	24
	移動炊飯器	59	自動体外式除細動器(AED)	33
	自家発電機：ガソリンタイプ 1600W	22	自家発電機：ガソリンタイプ	3
	投光機	36	自家発電機：プロパンタイプ	11

【救援物資の備蓄】(H30.12 末現在)

毛 布	緊急セット	安眠セット	布 団	バ タオル	ブルー シート	タオル ケット
2,972 枚	1,248 セット	1,132 セット	392 組 (100)	951 枚	492 枚 (100)	790 枚

(3) 国内義援金及び海外救援金の募集活動

被災者支援のため、各種団体及び各報道機関の協力のもと、国内義援金及び海外救援金の募集活動を行います。

【平成 31 年度募集の国内義援金】

	募集名	募集期限
国内義援金	東日本大震災義援金(岩手県、宮城県、福島県、茨城県)	2020年3月31日
	平成28年熊本地震災害義援金	2020年3月31日
	平成30年7月豪雨災害義援金(岡山県、広島県、愛媛県、福岡県)	2019年6月28日
	平成30年北海道胆振東部地震災害義援金	2019年6月30日

【平成 30 年度国内義援金受付実績表 : H31.1 月末現在】(単位 : 円)

義援金募集名	件数	金額	募集期限	累計
東日本大震災義援金(4都道県)	96	1,081,593	2019年3月31日	1,530,756,381
熊本地震災害義援金	115	790,290	2019年3月31日	143,946,212
7月5日からの大雨災害義援金	19	153,868	2019年3月29日	14,038,120
大阪府北部地震災害義援金	91	753,355	2018年9月28日	
米原市竜巻災害義援金	5	46,953	2018年9月28日	
7月豪雨災害義援金	833	63,909,034	2019年6月28日	
北海道胆振東部地震災害義援金	113	5,896,407	2019年3月31日	
合計	1,272	72,631,500		

【平成 30 年度海外救援金受付実績表 : H31.1 月末現在】(単位 : 円)

救援金募集名	件数	金額	募集期限	累計
中東人道危機救援金	3	41,603	2020年3月31日	117,848
バングラデシュ南部避難民救援金	1	5,000	2020年3月31日	24,774
インドネシア・ロンボク島地震救援金	2	27,900	2018年11月30日	—
インドネシア・スラウェシ島地震救援金	8	1,032,859	2018年11月30日	—
合計	14	1,107,362		



▲平成 30 年 7 月豪雨災害義援金受取
～添上高等学校生徒～



▲平成 30 年 7 月豪雨災害義援金受取
～下北山村～

2 赤十字講習の充実 －いざという時に備えて－

心肺蘇生やAEDの使用方法を学ぶ救急法をはじめ、いざという時にすぐに役に立つさまざまな講習を実施します。また、自治会・町内会など地域防災力を高める活動として、地区分区へ働きかけ、小冊子「災害時の備え」を活用した防災・減災のための講習会を積極的に取り組んでいきます。

また、健康生活支援講習では、要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられることを目標に進められている地域包括ケアシステムに貢献できるよう、地域包括支援センター、社会福祉協議会、NPO等と協働して、生活支援・介護予防のための講習普及に努めています。

(1) 防災・減災のための講習会

- ① 自治会・町内会等の地域防災力を高める活動として、赤十字防災啓発プログラム「地域で考える災害時の備え」を活用した講習会を、県下各地域で積極的に開催します。
- ② 「災害時要配慮者生活支援講習」として、災害時の避難所で高齢者に及ぼす影響や接するときの心づかいと支援の方法を学ぶ講習会を開催します。
- ③ 短期講習として、学校や地域・団体などで開催するとともに、安全法指導赤十字奉仕団員等を講師として派遣します。また、子育て支援事業として「親子防災教室」を実施します。

講習会区分	実 施 日	場 所	時 間
地域で考える災害時の備え ・赤十字防災啓発プログラム ・体験プログラム など	随時受付します。	各地域	1日、半日、2時間等 ご希望に対応します。
災害時要配慮者 生活支援講習	8月17日（土）、 2020年1月18日（土）	支部 他	9時30分～15時30分
親子防災教室	随時受付します。	各地域	1日、半日、2時間等 ご希望に対応します。



▲冊子
「赤十字防災啓発プログラム」



▲非常食づくり



▲ハンドマッサージ

(2) 救急法等の講習会

救急法講習、水上安全法講習、健康生活支援講習、幼児安全法講習を、講習指導資格を有する安全法指導赤十字奉仕団にご協力いただき、以下のとおり開催します。

平成 30 年度、県下地域で 277 回開催し、延べ 9,432 人(H30.12 末現在)の方に受講いたいただいています。

【奈良県支部主催の救急法等講習会普及計画】

講習会区分		実施日	場所	時間
救急法	基礎講習	未定	支部	9 時 30 分～15 時
	基礎講習 及び 救急員養成講習	5 月 11 日(土)：基礎 5 月 18 日(土)、19 日(日)：養成	奈良市	基礎：9 時 30 分～15 時 養成：9 時 30 分～18 時
		8 月：基礎 8 月：養成	未定	
		12 月：基礎 12 月：養成	橿原市	
		2020 年 2 月：基礎 2020 年 2 月：養成	未定	
水上安全法	救助員 I 養成講習	5 月 26 日(日)、6 月 2 日(日)、9 日(日)	大和郡山市	9 時 30 分～17 時
健康生活 支援講習	支援員養成講習	5 月 17 日(金)～19 日(日) 10 月 23 日(金)～25 日(日)	支部	9 時 30 分～15 時 30 分
幼児安全法	支援員養成講習	6 月 8 日(土)・9 日(日) 2020 年 2 月 13 日(土)・14 日(日)	支部	9 時～17 時

お申し込みは、奈良県支部事業推進課までお願いします。

平成 31 年度は、各講習会の指導を行っていただくボランティア指導員の養成講習を開催します。



▲救急法



▲水上安全法



▲幼児安全法



▲健康生活支援講習



▲地域包括ケアシステム

3 青少年赤十字の育成 －思いやりを育む－

(加盟校：111 校 幼稚園・保育所：13 校 小学校：73 校 中学校：15 校 高等学校：10 校)

将来をになう児童・生徒が、自ら「気づき・考え・実行する」という生きる力を養うため、先生等の青少年赤十字指導者の協力のもと、学校教育の現場で豊かな人間性や社会性を育む活動に取り組みます。

- ① 「青少年赤十字防災教育推進事業」として、青少年赤十字加盟校並びに新しい指導者を養成するため、県立教育研究所において、小・中学校、高等学校の教諭や養護担当教諭等を対象に、「A E D講習」や「防災講習」などを実施します。

【平成 30 年度実施実績】

研修内容	実施場所等
中堅教諭等資質向上研修講座（防災教育）	県立教育研究所



▲防災教育教材



▲避難所 HUG(運営ゲーム)



▲避難所運営研修会

- ② 学校における防災教育の充実を図るため、県下の全加盟小学校・中学校、高等学校に配布した青少年赤十字防災教育用DVDの積極的な活用を働きかけることと、平成26年度から実施している「青少年赤十字活動支援事業（助成金3万円の交付）」を通じて、青少年赤十字加盟校が取り組む自主的かつ積極的な活動を支援します。

【平成 30 年度実施実績】

学校名	事業名称	活動内容
奈良市立 大安寺小学校	大安寺あいさつ、笑顔いっぱい 花いっぱい活動	<ul style="list-style-type: none">●花壇やプランターの整備●清掃・環境美化活動の推進●あいさつ運動の推進
奈良市立 鼓阪小学校	鼓阪 100(パーカクト)縁で つなぐ学校と地域	<ul style="list-style-type: none">●花苗を行内温室で育て、保護者・地域に配流する●地域の人たちと協力して、校区の美化活動を行う●実施した活動を学校通信、ホームページなどを通じて保護者や地域に紹介する
奈良市立 東市小学校	東市まるごと笑顔 100% 東市花いっぱい運動	<ul style="list-style-type: none">●学校の花壇を整備し、学校環境を整える●植栽活動を奉仕作業、清掃活動につなげ、自分たちの力で自分たちの住む環境を整える
奈良市立 飛鳥小学校	飛鳥スマイルキッズ「花いっぱい プロジェクト」	<ul style="list-style-type: none">●地域の清掃活動、子どもたちの育てた花のプレゼント●花や植物の栽培活動を通じて自然を愛する心情を育む●古着、空き缶の回収のリサイクル活動



▲大安寺小学校



▲鼓阪小学校



▲東市小学校



▲飛鳥小学校

- ③ 県内の青少年赤十字未加盟校に対して、募集用パンフレットを活用し、青少年赤十字賛助奉仕団の協力を得ながら未加盟校を訪問し、加盟校の普及に努めます。



- ④ 幼稚園、保育園向け防災教育教材「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん！」を未加盟園に紹介し、加盟普及に努め、配布を希望された加盟園に提供します。



▲防災教育教材



▲防災教育講習

- ⑤ 青少年赤十字指導者協議会の開催（隨時）と、若い世代の青少年赤十字指導者の養成研修会（場所・開催日：未定）を開催します。



▲防災教育プログラム体験
～避難所運営体験～



～チームワークを育むプログラム体験～

⑥ 青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンターを開催します。

メンバーは2泊3日の集団生活を通じて、リーダーとして必要な自主・自律の精神を身につけ、赤十字や青少年赤十字活動に関する知識や技術への理解を深め、生活態度全般にわたって学びます。(場所調整中:7月31日~8月2日)



▲応急手当



▲アイマスク体験



▲非常食づくり

⑦ 「NHK 海外たすけあい」の募金活動を青年赤十字奉仕団の協力を得て、近鉄奈良駅周辺やNHK奈良放送局で実施します。(12月1日~25日)



▲竹ひごタワー作成



▲街頭募金



▲集合写真

⑧ 国際人道法の普及や国際理解の教育及び防災教育を推進するため、県下の学校などへ指導者を派遣します。

⑨ 隔年毎に相互訪問している第4ブロック(近畿)合同の国際交流事業について、マレーシア赤新月社よりメンバー12名、指導者3名の計15名を受入し、受入プログラムやホームステイを実施します。(受入時期:9月12~18日)

【平成30年度実施実績】

事業名	派遣先	派遣人数
第4ブロック(近畿)合同国際交流派遣事業	マレーシア赤新月社	ユースメンバー:2名 指導者:1名 計3名



▲国際交流:受入(平成29年度)



▲国際交流:派遣(平成30年度)

4 国際活動の推進 －世界とつながる－

世界 191 の国と地域にある赤十字の一員として、本社の要請のもと、災害や紛争等で苦しむ人々の緊急救援や復興支援に協力します。奈良県支部では本社と連携して次の事業を行います。

(1) 緊急救援

- ① 中東人道危機など、海外で発生する大規模災害や紛争等被害者の救援金募集活動を行います。(隨時)
- ② 在外日本人及び在日外国人の安否調査に協力します。(隨時)



▲中東人道危機
～ギリシャで難民を医療救護する
赤十字ボランティア～



▲フィリピン保健医療事業支援
～巡回診療_Tinubdan 村～

(2) 復興支援

- ① フィリピン保健医療支援事業に資金協力します。
- ② 「NHK 海外たすけあい」キャンペーンを実施します。(12月1日～25日)

(3) 赤十字思想の普及・啓発

- ① イベントでのパネル展示等を通じた国際人道法の普及活動を行います。
- ② 本社、第4ブロック(近畿)主催の国際人道法セミナーに参加します。

5 救護看護師の養成 －国内外で活躍できる看護師を－

豊かな人間性と看護に関する幅広い能力と、救護の専門知識を兼ね備えた看護の実践者を育成するため、大阪赤十字看護専門学校に委託し、養成事業を行います。

なお、看護大学及び大阪赤十字看護専門学校を対象に奨学金の支援も行います。

養成計画	1年	2年	3年	4年	計
看護専門学校	2人	2人	1人	-	5人



▲実技演習の授業風景



▲戴帽式

6 血液事業の推進 －献血にご協力を!!－

奈良県赤十字血液センターでは、国民の善意により支えられている血液事業の運営において、その執行の適切性・透明性の確保及び効率性等を検証し、必要に応じて事業の見直しを図るとともに、積極的な情報発信を推進し、採血業・販売業において「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」等の関係法令に則った適正な事業運営を行います。

- ① 安全な血液製剤の安定供給の実施に努めます。
- ② 血液製剤の安全性、事業効率、医療機関（患者）の重要な3つの観点から、400mL献血や成分献血を中心に効果的な採血を行うため、使用実績に応じた計画的な採血に努めます。
- ③ 高校生セミナーを積極的に実施するなど、若年層を対象とした献血者確保対策を実施します。
- ④ 広く県民への献血の普及啓発を図るため、ホームページ、Facebook、ラジオ放送、イベント等の展開を基軸とした各種キャンペーンを実施し、効果的な普及活動を行います。
 - ・はたちの献血キャンペーン（1月1日～2月28日）、愛の血液助け合い運動（7月1日～8月31日）、全国学生クリスマス献血（12月）等の推進に努めます。
 - ・小学生を対象とした「献血まるわかりゼミ」の開催と、高等学校における「献血セミナー」を実施します。
 - ・新聞広報による「はたちの献血キャンペーン」と「愛の血液助け合い運動」の啓発記事を掲載します。（奈良県支部有功会提供）



▲学推クリスマスキャンペーン



▲高校生セミナー



▲学推近畿統一キャンペーン



▲献血まるわかりゼミ

7 赤十字ボランティアの育成 －活動を支える－

“赤十字ボランティアは、地域社会を住みよくしよう”という気持ちを持った人々の集まりで、災害救護や献血の推進、講習会の普及などの赤十字事業の推進をはじめ、地域社会のニーズに応じた幅広い活動に積極的に参加、協力いただいています。

奈良県支部では、赤十字ボランティアの自主性を尊重し、地域のニーズに応えた魅力ある活動を支援してまいります。

(1) 地域赤十字奉仕団（団数及び団員数：39 団、3,607 人）昭和 23 年発足

市町村の地域ごとに結成され、地域単位で活動計画を立案し、奉仕活動を行います。全体の取組みとして、赤十字事業の普及と推進、ハンセン病施設訪問(岡山県)、地区委員会や研修会などを開催します。また、地域活動では、活動資金への協力を始め、防災訓練やイベントでの非常食づくり・配布への参加、献血協力の呼びかけ、クリーンアップならキャンペーンの参加、海外たすけあい募金活動と受付業務の協力などのほか、老人ホームでの交流や地域での清掃活動等に取り組みます。

- ① 県下全体の事業活動の取組方針を決定するための支部委員会の開催、各地区内の事業活動の取組方針を決定するための地区委員会を開催します。
- ② 奉仕団中央委員会、支部指導講師研修会に出席します。
- ③ 奉仕団研修会（7月29日：奈良県人権センター）を実施します。



▲「地域包括ケア」・「若年層への赤十字啓発」をテーマにした意見交換会

- ④ ハンセン病施設訪問事業（岡山県：昭和 27 年からの継続事業。訪問時期：4 月 12 日）を行います。



▲納骨堂お参り



▲ふれあい交流会

- ⑤ 地域奉仕団活動促進助成金交付事業として、赤十字活動に対する県民の理解を深化させ、健康で安心に暮らせる共同社会の構築に寄与する奉仕活動へ助成します。
(赤十字活動の普及啓発、高齢者及び子ども等の見守り活動、ふれあいサロン等での交流会の運営など)

- ⑥ 地域ニーズに応じたモデル奉仕団活動や、独自活動（一日赤十字開催や地域イベントとのコラボなど）のほか、講習普及活動、献血協力の呼びかけ、クリーンアップキャンペーンに参加します。



▲献血協力の呼びかけ
～大和郡山市赤十字奉仕団～



▲講習普及活動
～生駒市赤十字奉仕団～

- ⑦ 防災・減災教育事業として、園児・保護者を対象として防災や赤十字運動の紙芝居などを実施し、赤十字思想の普及に努めます。



▲香芝市赤十字奉仕団による防災・減災教育事業（寸ぎき、紙芝居）



- ⑧ 地域内での「法人会費」及び「災害義援金」の募集活動、「NHK海外たすけあい」の募集活動及びNHK奈良放送局での受付に協力します。



▲災害義援金募集活動
～天理市赤十字奉仕団～



▲NHK 海外たすけあい街頭募金
～桜井市赤十字奉仕団～

- ⑨ モデル奉仕団の指定による活動の充実に努めます。

生駒市赤十字奉仕団（団員：15人）

【モデル活動名：災害救護に関する活動】

平成29年度から3年計画で、赤十字事業チラシやパネル等を作成して広報するほか、地域住民への赤十字救急法や災害時生活支援講習の普及にも努めます。

三宅町赤十字奉仕団（団員：54人）

【モデル活動名：災害救護に関する活動】

平成30年度から3年計画で、赤十字奉仕団の広報に務め、防災訓練や講習において活動内容を示して、会費への理解が得られるよう努めます。

川西町赤十字奉仕団（団員：180人）

【モデル活動名：災害救護に関する活動】

平成31年度から3年計画で取り組みます。具体内容は現在検討中。



▲高取町赤十字奉仕団
非常食炊出し



▲生駒市赤十字奉仕団
一次救命処置



▲三宅町赤十字奉仕団
防災ずきん作成

(2) 安全法指導赤十字奉仕団 (団員：130人) 昭和52年発足

赤十字講習指導員資格を有し、健康で安全に暮らすための知識と技術を伝える講習を普及します。

- ① 赤十字救急法、健康生活支援講習、幼児安全法、水上安全法、災害時要配慮者生活支援講習の講習普及とともに、赤十字思想の普及や活動資金への協力依頼や使いみちについての啓発活動等を行います。
- ② 防災・災害救護訓練への参加及び指導的役割を發揮できるよう技術の向上を図ることを目的とした研修会（11月頃）を開催します。
- ③ 「みんなの防災+ソナ工」などのイベント時に講習普及活動に努めます。



▲総会



▲研修会



▲講習指導

(3) 無線・救護赤十字奉仕団 (団員：25人) 昭和47年発足

昭和47年「無線赤十字奉仕団」として発足、平成25年に現在の名称に変更
アマチュア無線技士の資格を生かし、災害時の情報収集や伝達活動をにぎうため、通信訓練や救護活動を行います。

- ① 非常時の連絡通信体制の整備並びに県下及び他府県との無線伝播調査を実施します。
- ② 防災・災害救護訓練への参加及び一泊研修会（11月頃）を開催します。
- ③ イベントなどの救護活動や通信連絡活動を行います。
- ④ 第4ブロック(近畿)主催の研修会（11月頃）に参加します。



▲災害救護訓練での通信訓練



▲無線伝播調査

(4) 青年赤十字連絡協議会（団員：21人）

奈良県青年赤十字奉仕団(7名：昭和60年発足) 近畿大学農学部赤十字奉仕団(14名：平成4年発足)

奈良大学学生赤十字奉仕団(休団：平成24年発足)

勤労青年や大学生で組織され、献血の呼びかけや青少年赤十字のサポートなどの活動を行います。また、県下の大学等に学生奉仕団の結成を呼びかけます。

- ① 赤十字思想の普及と献血推進、国内外で発生した災害の義(救)援金募集活動を行います。
- ② ピア・エデュケーション研修会(同年代の若者が命の大切さなどを共に学び考える活動)に参加します。
- ③ 防災、災害救護訓練に参加します。
- ④ 青少年赤十字活動のサポートを行います。
- ⑤ 救急法救急員資格の習得に努めます。
- ⑥ 第4ブロック(近畿)リーダー養成研修会に参加します。
- ⑦ 県内の大学や短大へ奉仕団結成の呼び掛けを行います。



▲ピア・リーダー養成研修会



▲ボランティア・リーダー研修会

(5) 看護赤十字奉仕団（団員：50人）昭和48年発足

看護師の資格を有する人たちで結成され、公共性の高い行事の臨時救護などの活動を行います。

- ① 地域への貢献のため、公共性の高い行事等の臨時救護や付添救護活動を通じて地域活動に協力します。(奈良マラソン、県スポーツ大会、地域イベント等)
- ② 防災、災害救護訓練に参加します。
- ③ 技術の向上を図るための研修会を開催します。(2020年3月)



▲奈良マラソンでの救護活動



▲付添救護



▲研修会

(6) 青少年赤十字賛助奉仕団 (団員：21人)

昭和39年「賛助会」として発足、平成14年に現在の名称に変更

- ① 地域において、地域赤十字奉仕団と連携し、「地域で子どもを育てる」をキヤッチフレーズにして、地域の安心・安全活動に取り組みます。
- ② 青少年赤十字トレーニングセンター(奈良市：7月31日～8月2日)に協力します。
- ③ 本社、ブロックの研修会に参加します。
- ④ 青少年赤十字活動の加盟校増強や防災教育事業普及に協力します。
- ⑤ 青少年赤十字指導者養成事業への協力、助言などを行います。



▲青少年赤十字トレーニングセンター



▲総会

(7) 防災ボランティア (個人登録16名) 平成9年発足

支部に個人登録し、災害発生時における救援活動を行います。

- ① 被災者支援に役立つ知識・技術が習得できる研修会に参加します。
- ② 県主催の防災訓練に参加します。
- ③ 年4回の赤十字NEWSの発送業務に協力します。

8 効果的な広報の展開 – 活動へのご理解とご参加を –

災害救護活動や国際活動など人道的な活動を行っている赤十字の事業内容を、幅広く県民に知っていただき、赤十字ボランティアへの参加、社会貢献のための事業参加、活動資金の募集への理解を深めるため、新聞広告等を通じて、効果的な広報活動を行います。

今年度新たに、ショッピングモール（イオン）にて
「赤十字フェスタ（仮称）」のイベント実施と赤十字運
動月間中の横断幕設置を行い、赤十字活動のPRを行
います。

また、引き続き、「みんなの防災+ソナエ」、「私たち
は忘れないプロジェクト」（東日本大震災復興支援）な
どのイベントも行います。



▲みんなの防災 + ソナエ

(1) 支部の広報活動

- ① 日本赤十字社が全国統一で実施する「赤十字会員増強運動月間」(5月)並びに、年間を通じて広報活動に取り組みます。
- ② 運動月間(5月)に近鉄奈良駅前行基広場にて、啓発用横断幕を設置します。
- ③ テレビ放送（運動月間：5月及び随時放送）での広報活動（奈良テレビ、コミュニティビジョン吉野ケーブルテレビ、下市テレビ）も行います。
- ④ 新聞への廣告掲載を行います。（運動月間：5月に、赤十字活動の紹介）
- ⑤ 報道機関に対して、支部事業等の開催状況や、本社作成の広報資材をもって広報の協力を依頼します。（随時）
- ⑥ 広報誌「日赤なら」(5月に24万部)及び「支部の活動報告」(中間報告：10月に2万部)を作成します。
- ⑦ 遺贈、相続寄付をターゲットに日経電子版バナー広告による広報活動を行います。併せて、ホームページの更新も行い、各種情報等の発信に努めます。



▲啓発用横断幕

近鉄奈良駅前行基広場



日赤なら

(2) 地区分区(市町村)への広報活動

各種広報資材を作成し、赤十字事業の普及啓発及び活動資金募集の協力依頼を行います。

- ① 広報誌「日赤なら」(24万部)を作成し、各自治会等を通じて県民に配布します。
- ② 各地区分区発行の広報誌に、運動月間や講習会開催など記事の掲載を依頼します。
- ③ 各地区分区に本社作成ポスターの掲示とパンフレット配付を依頼します。
- ④ 地区分区に「赤十字パネル展」の開催を依頼します。
- ⑤ 地区分区(市町村)主催イベント(1日赤十字など)や自治会主催イベント(防災訓練など)に広報パネルやのぼり等資材を貸出します。

(3) 第4ブロック(近畿)合同広報活動

- ① 近畿圏エリアのJR西日本の車両内にポスター広告の掲示を行います。
- ② 啓発資材(ポケットティッシュ)4万個を作成します。

9 活動資金の募集及び表彰制度 －活動資金にご協力を!!－

日本赤十字社は、会員等の皆さんから納めていただく会費と、広く皆さんからお寄せいただく寄付金（これら会費と寄付金を総称して「活動資金」という。）を財源として、災害救護活動や国際活動をはじめ、事業計画に基づく人道的活動を展開します。

活動資金の募集を取り巻く環境は厳しいものがありますが、地区分区、赤十字奉仕団、自治会、日赤有功会をはじめ広く県民の皆さんの赤十字活動に対するご理解を深めながら、活動資金へのご協力をお願いしてまいります。

県内の幼・小・中・高等学校への赤十字募金のお願い、個人・法人などへのダイレクトメール発送先の新規開拓、企業の社会貢献活動との連携、企業・団体と災害時協定の締結、災害に備えた救護装備品の寄贈などの協力、広報PR活動、遺贈による寄付の周知などに取り組んでまいります。

また、自治会未加入の地域やマンションなどへタウンプラスによる活動資金の協力依頼を計画的に実施してまいります。

寄付金付自販機設置先	設置場所
奈良県奈良土木事務所	奈良市
杏林会鍼灸整骨院	大和高田市
中造園	葛城市
(有)三輪そうめん天寿堂	桜井市
シンシアペットクリニック	三郷町
(株)RISING SUN	橿原市



▲募金箱
(有功会連絡協議会補助)



▲赤十字募金資材



▲寄付金付自動販売機



▲赤十字募金受取
～鼓阪小学校～



▲チャリティーコンサート寄付金贈呈
～奈良中央信用金庫～

【表彰制度について】

多額の活動資金を納入された個人や法人等については、国や日本赤十字社の表彰制度が適用されます。

日本赤十字社の有功章贈与・表彰制度

項目	表 彰 基 準
1. 支部長表彰状・感謝状	活動資金として一時または累計で10万円以上を納められた個人・法人等
2. 銀色有功章	活動資金として一時または累計で20万円以上を納められた個人・法人等
3. 金色有功章	活動資金として一時または累計で50万円以上を納められた個人・法人等
4. 本社感謝状（6条）	金色有功章受章後、更に活動資金として50万円を納められた個人・法人等



▲金色有功章：個人（左：男性 右：女性）

▲金色有功章(法人)

銀色有功章(個人・法人)

国の表彰制度

項目	表 彰 基 準
1. 厚生労働大臣感謝状	活動資金として100万円以上を納められた個人 活動資金として300万円以上を納められた法人等
2. 紺綬褒章	活動資金として500万円以上を納められた個人 活動資金として1,000万円以上を納められた法人等

10 奈良県支部有功会（平成31年度会員数：446人、昭和41年1月結成）

支部有功会は、日本赤十字社の金色有功章を受章された方々が赤十字思想の普及とその事業の推進に寄与するとともに、会員相互の親睦を図ることを目的に結成した団体として活動しています。

また、7地区（奈良市都祁、奈良市月ヶ瀬地区、大和郡山市、王寺町、宇陀地区、橿原市、生駒市）においては、地区有功会が組織され、会員の増強と赤十字事業を通じた地域活動に貢献していただいている。

- ① 総会(講演会、懇談会も同時開催)を開催します。(4月)
- ② 全国赤十字大会へ参会します。(5月)
- ③ 赤十字活動の支援広告を掲載します。(隨時)
- ④ 赤十字活動資金の協力、災害等の義(救)援金に協力します。
- ⑤ 日赤紺綬・有功会会長協議会総会に参加します。(10月：福岡市)

⑥ 大阪赤十字看護専門学生への一部費用を助成します。

⑦ 地区有功会において赤十字事業の発展に尽くします。



▲有功会総会



▲有功会交流会



▲有功会連絡協議会



▲看護専門学生へ助成



▲地区有功会総会(生駒市)



▲地区有功会総会（都祁）

IV. 平成 31(2019)年度 一般会計予算(案)

1 平成 31(2019)年度 一般会計予算

	(歳 入)					単位：千円
区分		平成31年度 予算額	平成30年度 予算額	増減	付 記	
1	社資収入	215,000	167,000	48,000	地区分区(市町村)及び支部を通じた個人、法人からの会費、寄付金	
2	補助金及び 交付金収入	6,919	4,610	2,309	本社からの財政調整交付金	
3	繰入金収入	1,100	1,100	0	国際救護活動資金繰入	
4	雑収入	4,981	4,790	191	講師派遣負担金収入、講習用教材費収入等	
5	前年度繰越金	20,000	500	19,500	前年度繰越金	
歳入合計		248,000	178,000	70,000		
	(歳 出)					単位：千円
区分		平成31年度 予算額	平成30年度 予算額	増減	付 記	
1	災害救護事業費	39,150	25,220	13,930	災害に備えた救護装備費、救助費、救護訓練費、救援物資整備費、救護看護師養成費	
2	社会活動費	44,220	43,280	940	救急法等講習普及費、奉仕団及び青少年赤十字育成費、血液事業普及費	
3	国際活動費	1,100	1,100	0	フィリピン保健医療支援事業	
4	指定事業 地方振興費	3,000	2,000	1,000	救護資機材整備費	
5	地区分区 交付金支出	16,390	16,390	0	地区分区(市町村)における赤十字活動費	
6	社業振興費	34,030	30,600	3,430	赤十字思想の普及啓発費、活動資金募集費、会員等管理費、全国赤十字大会参加費	
7	積立金支出	50,000	5,400	44,600	災害発生に備えた積立金等	
8	総務管理費	27,050	25,690	1,360	支部事業管理運営費	
9	資産取得及び 資産管理費	1,232	1,342	△110	施設管理費	
10	本社送納金支出	29,250	24,450	4,800	本社における国内、国際活動費	
11	予備費	2,578	2,528	50	その他	
歳出合計		248,000	178,000	70,000		

(注)支部評議員会の運営

- (i)支部評議員会は、日本赤十字社定款第 71 条などの規定に基づき、定数 45 名の評議員が、支部長の諮問に答えるほか奈良県支部の役員選出及び支部の重要な業務について、審議にあたります。(開催時期 2月、6月)
- (ii)監査委員会は、支部評議員会で選出された支部監査員 2名と外部監査員（税理士）1名で、奈良県支部の一般会計決算の監査を行います。(開催時期 5月 : 平成 16 年度決算から税理士による外部監査を実施)
- (iii)平成 31 年度より新たに外部監査制度を導入します。

2 平成 31(2019)年度 活動資金募集お願い額一覧表

区分		平成31年度	平成30年度	区分		平成31年度	平成30年度	単位：円
奈良市地区	奈良市地区	40,035,000	40,035,000	高市郡	高取町分区	724,000	724,000	
	大和高田市地区	7,877,000	7,877,000		明日香村分区	609,000	609,000	
	大和郡山市地区	9,749,000	9,749,000		計	1,333,000	1,333,000	
	天理市地区	8,277,000	8,277,000	北葛城郡	上牧町分区	2,388,000	2,388,000	
	橿原市地区	12,603,000	12,603,000		王寺町分区	2,427,000	2,427,000	
	桜井市地区	6,146,000	6,146,000		広陵町分区	2,647,000	2,647,000	
	五條市地区	3,871,000	3,871,000		河合町分区	2,007,000	2,007,000	
	御所市地区	3,509,000	3,509,000	計		9,469,000	9,469,000	
	生駒市地区	11,390,000	11,390,000	吉野郡	吉野町分区	1,114,000	1,114,000	
	香芝市地区	5,690,000	5,690,000		大淀町分区	1,972,000	1,972,000	
	葛城市地区	3,197,000	3,197,000		下市町分区	822,000	822,000	
	宇陀市地区	3,659,000	3,659,000		黒滝村分区	128,000	128,000	
地区扱計		116,003,000	116,003,000		天川村分区	239,000	239,000	
		401,000	401,000		下北山村分区	197,000	197,000	
山添村分区					上北山村分区	112,000	112,000	
生駒郡	平群町分区	1,927,000	1,927,000		川上村分区	302,000	302,000	
	三郷町分区	2,558,000	2,558,000		東吉野村分区	341,000	341,000	
	斑鳩町分区	2,861,000	2,861,000		計	5,227,000	5,227,000	
	安堵町分区	881,000	881,000	吉野西	野迫川村分区	84,000	84,000	
	計	8,227,000	8,227,000		十津川村分区	601,000	601,000	
磯城郡	川西町分区	900,000	900,000		計	685,000	685,000	
	三宅町分区	777,000	777,000		分区扱計	30,539,000	30,539,000	
	田原本町分区	3,032,000	3,032,000		地区分区扱計※	146,000,000	146,000,000	
	計	4,709,000	4,709,000		支部扱計	9,000,000	10,000,000	
宇陀郡	曾爾村分区	216,000	216,000	(一般社資合計)		155,000,000	156,000,000	
	御杖村分区	272,000	272,000	(法人社資合計)		60,000,000	11,000,000	
	計	488,000	488,000	社資合計		215,000,000	167,000,000	

※ 「地区分区扱計」146,542,000 円の内、542,000 円は切り捨てて「支部扱計」に含んでいます。